

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対するメボリズマブの臨床効果の臨床解析研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 血液膠原病内科（研究責任者） 北村 登

<研究期間>

承認日 ～ 西暦 2020年 12月 31日

<研究の目的と意義>

メボリズマブはIL-5のモノクローナル抗体で2016年に気管支喘息に適応取った後に、2018年5月に今までの治療で効果不十分の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)に対し適応取りました。しかしEGPAの合併症の個々の合併症に対する臨床効果はまだ十分解析されていません。今回副腎皮質ステロイド薬を減量中に悪化した患者様に対しメボリズマブを投与した方の症状の改善度や、検査所見、それぞれの臓器合併症の改善度を調査します。患者様のカルテからの情報は個人と特定出来ない形で、抽出し、この研究、調査の目的のみで使われ、他へ利用されることはありません。

<利用する試料・情報の項目>

今回の研究ではメボリズマブ投与前後での、血液検査の一部、肺機能検査や電気生理学的検査等を利用します。

<対象となる患者さん>

2018年5月1日～2020年12月31日の期間に当院血液膠原病内科EGPAと診断され、副腎皮質ステロイド薬で治療を行いましたが、効果不十分でメボリズマブを投与された患者様。

<研究の方法>

対象となる患者様のカルテから上記の結果を調査し、メボリズマブでの治療効果の有無を調べます。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1)

血液膠原病内科 氏名:北村 登

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2402 (PHS)8012